

ホッとHOTなまちをつくろう

～日光市中心市街地活性化基本計画～ その⑤

今回は、今市市街地で開催される、「いいとこいっぱい」のイベント(秋・冬編)を紹介します。夏の躍動的なイベントに対して、秋と冬は「食」をテーマとしたイベントが多く見られます。また、これらのイベントも市の中心市街地活性化基本計画の事業の一つです。



日光「焼き」そばまつり

～もう一つのそばまつり～

開催日時：11月24日(日)
開催場所：今市市街地国道119号
今年で7年目を迎える日光「焼き」そばまつりは、日光そばまつりの関連イベントとして、同時期に開催される、もう一つのそばまつりです。



また、日光「焼き」そばまつりは、B級グルメの祭典でもあります。毎年県内外から25店舗の味自慢の焼きそば職人が集結し、味を競います。このイベントは、ラリー券(10店舗分・500円)を購入して焼きそばを食べ歩き、お気に入りの店舗に投票する「焼きそば総選挙」です。今年はこのお店がグランプリの座に輝くのでしょうか。

JR駅前通りイルミネーション

開催日時：11月中旬～平成26年2月中旬
開催場所：JR今市駅前通り

JR今市駅前通り

毎年11月中旬から2月上旬の夜に、光の演出で生まれ変わります。



平成24年度は、地元商店会の皆さんと今市工業高等学校の生徒が力を合わせ、共同でイルミネーションを計画・設置しました。寒い冬の夜の駅前通りを、ライトアップされた光が温かく彩りました。

全日本しもつかれコンテスト

開催日時：平成26年2月11日(火・祝)
開催場所：プラチナホームいまいち(今市市街地大通り)

冬の恒例行事として、県の伝統郷土料理「しもつかれ」の腕を競うコンテストが開かれます。毎年多く



の出場申込みがあり、先着30名がエントリーします。当日は、会場に集まった人たちが長蛇の列を作り、出場者自慢の30種類の「しもつかれ」を味わいます。審査員や来場者はそれぞれ、お気に入りの「しもつかれ」に票を投じ、優勝者が「しもつかれ鉄人」の称号を受けます。

「新酒と食」の見本市

開催日時：平成26年2月11日(火・祝)
開催場所：今市市街地国道119号
毎年2月の新酒の時期に合わせ、「新酒と食の見本市」を開催します。



このイベントは、今市中心市街地の2軒の老舗酒蔵を回りながら、地元の酒と食材を多くの人に知ってもらうためのものです。日光の新酒に酔いしれ、食材に舌鼓!!

この連載についてくわしくはまちづくり推進課 ☎(30)1176

小杉放菴記念日光美術館 市民割引券



〒321-1431 日光市山内2388-3 TEL: 50-1200
ホームページ http://www.khmoan.jp/

(1枚につき、5名様まで有効)

切り取ってご利用ください

展覧会のご案内

「所蔵作品撰 国立公園の絵画展」

昭和の洋画界を代表する画家たちが描いた、日本の国立公園の風景絵画80点が、平成24年度に国立公園協会から日光市へ寄贈されました。今回、これらの絵画を前期と後期に分けて紹介する展覧会を開催します。私たちに身近な日光国立公園の風景をはじめ、今年、世界文化遺産に登録された富士山を有する富士箱根伊豆国立公園の風景など、日本各地の美しい風景の数々を、ぜひご鑑賞ください。



おのおのりゅうとく 大野隆徳「奥入瀬溪流の秋」 1932年 小杉放菴記念日光美術館所蔵

会 期：前期 9月14日(土)～10月27日(日)
後期 11月2日(土)～12月23日(月・祝)
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休 館 日：毎週月曜日(祝日・振替休日)のときは開館し、翌日を休館
入 館 料：一般…700(300)円、大学生500(200)円、高校生以下…無料
※()内は市民割引券を利用した際の料金です。



ミョージョーくん

歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(今市図書館隣) ☎(22)6217
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料) 休館日 月曜日、祝日

企画展紹介②「木和田島弁天沼湿原の動植物」(その3)

●弁天沼湿原の植物

今回の調査では、前回の調査(1994年)を11種上回る319種の植物が確認されました。そのうち新たに確認された植物は136種あります。これらの多くは、湿原が一時乾燥化したときに周辺部から入り込んだ植物です。湿原中央部の沼ではカンガレイヤヨシ、イトモ、ヒルムシロ、イヌタヌキモなどの水生植物が見られます。沼の周辺ではカキツバタやアギナシ、ヒメミクリ、サワギキョウ、コマツカサスキ、アゼスゲ、アマガヤ、アマゼリ、ミズオトギリなどの湿地性植物が見られます。湿原の縁ではノイバラやフジ、ウメモドキ、クワツバラなどの低木や、アメリカセンダングサ、オオハングソウ、アレチウリなどの帰化植物の侵入が見られます。

●湿原の保全・保護に向けて 今回の調査結果により、弁天沼



弁天沼

湿原の自然度は高く、水湿地特有の動植物が依然として多数生育していることが確認できました。しかし、以前と比較すると、ヨシの繁茂やハシロノキの侵入、スギ・ヒノキの生長による日陰化など湿原の環境変化は大きいものと考えられます。湿原環境や貴重動植物の保全・保護を図っていくためには、次の対策を検討する必要があります。

- ・刈り払いや樹木伐採の継続
- ・地下水の給水(乾燥化防止)
- ・観察路(木道など)の整備
- ・動植物採集の規制措置

◆企画展開催期間 9月29日(日)まで